

在メダン日本国総領事館 海外安全対策情報（令和3年4月～6月）

1 治安情勢

(1) 一般犯罪

ア 邦人の方が被害に遭われた事件
関連情報はありませんでした。

イ 状況

前期に引き続き、各種犯罪の中でも、強盗、窃盗（ひったくり、侵入盗）が頻発していました。

(2) 薬物犯罪

ア 邦人の方が関係する事件
関連情報はありませんでした。

イ 状況

前期に引き続き、覚せい剤や大麻の使用、所持、密輸による検挙が後を絶ちませんでした。

(3) テロ情勢

5月27日、インドネシア国家テロ対策長官は、2021年1月から5月までの間に、テロ関係者216名（イスラム過激組織ジェマー・イスラミア（JI）71名、ジャマー・アンシャルット・ダウラ（JAD）144名、外国からの帰還者1名）を逮捕したと発表しました。

当館管轄内では、6月中、リアウ州において、JI に所属する13名が、指名手配テロ容疑者の蔵匿・隠避に関わっていたとして逮捕されました。

当地では、警察関連施設又は教会（宗教行事）などがテロの標的となる傾向にありますので、訪れる際は、周囲の状況に注意を払い、不審な状況を察知した際は速やかにその場を離れるようにするなど、自らの安全確保に努める必要があります。

(4) 交通事故

邦人の方が被害に遭われた事故に関する情報はありませんでした。

(5) 災害

(火山)

北スマトラ州カロ県所在のシナブン山が、1月から6月までの間、177回にわたり噴火しました。噴火の大部分は、小中規模のものですが、最大では噴煙の高さが5,000メートルに達しました。これまで死傷者は報告されていませんが、カロ県では家屋や農作物が降灰の被害を受けました。噴火警戒レベルは3（地震・火山活動が活発化している状態）が維持されています。

(大雨)

6月5日午前、西スマトラ州パダン市において、大雨により街路樹16本が倒れ道路を塞いだほか、1台のバイクが下敷き（怪我人なし）になりました。

6月28日夕方、北スマトラ州メダン市において、公共ミニバス（通称アンコット）が大雨による倒木の下敷きとなり、乗客2名が死亡する事故が発生しました。

当地の大雨は強風や落雷を伴うため、上記のような被害が頻繁に発生しています。悪天候の際は外出を控える、大きな木の周りには駐車しない等、注意する必要があります。

2 対日感情

全般的に良好な状況に変化は見られませんでした。

3 日本企業の安全に関する諸問題

関連情報はありませんでした。